

皮膚科学講座

Dermatology

教授	清水 忠道	Tadamichi Shimizu
准教授	牧野 輝彦	Teruhiko Makino
講師	三澤 恵	Megumi Mizawa
助教	鹿兒山 浩	Ko Kagoyama
助教	虎井僚太郎	Ryotaro Torai
助教	古川 史奈	Fumina Furukawa
助教 (前)	森 直哉	Naoya Mori
診療助手	竹本 景太	Keita Takemoto
特命助教	吉久 陽子	Yoko Yoshihisa
技術職員	松永 憲治	Kenji Matsunaga

◆ 著 書

- 1) 清水忠道. 『皮膚科ではこう使う! 漢方処方ガイド』編集. 清水忠道 編集企画. 東京: 全日本病院出版会; 2020 Apr 15.
- 2) 清水忠道. 『皮膚科ではこう使う! 漢方処方ガイド』. 清水忠道 編集企画. 東京: 全日本病院出版会; 2020 Apr 15. アトピー性皮膚炎に対する漢方処方; p. 16-22.
- 3) 三澤 恵. 『皮膚科ではこう使う! 漢方処方ガイド』. 清水忠道 編集企画. 東京: 全日本病院出版会; 2020 Apr 15. 乾癬・掌蹠膿疱症に対する漢方処方; p. 29-35.
- 4) 三澤 恵, 鹿兒山浩, 清水忠道. 『ここがすごい! 富山大学附属病院の先端医療』. 富山大学附属病院 編著. 東京: バリユーメディカル; 2020 Jun 1. 35皮膚レーザー治療の進化—アザ治療, イボ治療; p. 80-1.
- 5) 牧野輝彦. 『ここがすごい! 富山大学附属病院の先端医療』. 富山大学附属病院 編著. 東京: バリユーメディカル; 2020 Jun 1. 36乾癬の治療の幅が広がった—バイオ製剤の導入—乾癬; p. 82-3.

◆ 原 著

- 1) Kagoyama K, Makino T, Shimizu T. Successful treatment of recalcitrant planter warts by carbon dioxide laser with a computerized scanner. *Br J Dermatol.* 2020 Mar; 182(3): 809-11. doi: 10.1111/bjd.18553.
- 2) Mizawa M, Andoh T, Shimizu T. Gardenia fruit-related blue-gray skin pigmentation. *JAMA Dermatol.* 2020 Mar 1; 156(3): 351-3. doi: 10.1001/jamadermatol.2019.4682.
- 3) Yoshihisa Y, Andoh T, Rehman MU, Shimizu T. The regulation of protein kinase casein kinase II by apigenin is involved in the inhibition of ultraviolet B-induced macrophage migration inhibitory factor-mediated hyperpigmentation. *Phytother Res.* 2020 Jun; 34(6): 1320-8. doi: 10.1002/ptr.6597.
- 4) Jawaid P, Rehman MU, Zhao QL, Misawa M, Ishikawa K, Hori M, Shimizu T, Saitoh J, Noguchi K, Kondo T. Small size gold nanoparticles enhance apoptosis-induced by cold atmospheric plasma via depletion of intracellular GSH and modification of oxidative stress. *Cell Death Discov.* 2020 Sep 10; 6(83): 1-12. doi: 10.1038/s41420-020-00314-x. eCollection 2020.
- 5) Furukawa F, Mizawa M, Shimizu T. Treatment of dermatosis papulosa nigra using a carbon dioxide laser. *J Cosmet Dermatol.* 2020 Oct; 19(10): 2572-5. doi: 10.1111/jocd.13309.
- 6) Makino T, Mizawa M, Yoshihisa Y, Yamamoto S, Tabuchi Y, Miyai M, Hibino T, Sasahara M, Shimizu T. Trichohyalin-like 1 protein plays a crucial role in proliferation and anti-apoptosis of normal human keratinocytes and squamous cell carcinoma cells. *Cell Death Discovery.* 2020 Oct 27; 6(109): 1-13. doi: 10.1038/s41420-020-00344-5.
- 7) Matsuda T, Kambe N, Ueki Y, Kanazawa N, Izawa K, Honda Y, Kawakami A, Takei S, Tonomura K, Inoue M, Kobayashi H, Okafuji I, Sakurai Y, Kato N, Maruyama Y, Inoue Y, Otsubo Y, Makino T, Okada S, Kobayashi I, Yashiro M, Ito S, Fujii H, Kondo Y, Okamoto N, Ito S, Iwata N, Kaneko U, Doi M, Hosokawa J, Ohara O, Saito MK, Nishikomori R. Clinical characteristics and treatment of 50 cases of Blau syndrome in Japan confirmed by genetic analysis of the NOD2 mutation. *Ann Rheum Dis.* 2020 Nov; 79(11): 1492-9. doi: 10.1136/annrheumdis-2020-217320.

- 8) 勝見達也, 森 修一, 竹本景太, 結城大介, 高塚純子, 竹之内辰也. 皮膚外科手術における手術室運用システムより速く, より安全に一. 日本皮膚科学会雑誌. 2020 Jul 20; 130(8): 1805-10.

◆ 症例報告

- 1) Matsui Y*, Makino T, Takemoto K, Kagoyama K, Shimizu T. Co-existence of basal cell carcinoma and squamous cell carcinoma in a single burn scar region. *Burns Open*. 2020; 4(2): 64-6. doi: 10.1016/j.burnso.2020.03.001.
- 2) Furukawa F, Makino T, Takemoto K, Mizawa M, Arita K, Hamashima T, Shimizu T. Sarcoid reactions in the skin caused by mantle cell lymphoma. *Eur J Dermatol*. 2020 Feb 1; 30(1): 57-8. doi: 10.1684/ejd.2019.3687.
- 3) Hayashi M*, Makino T, Mori N, Mizawa M, Shimizu T. Effectiveness of pazopanib for local and lung metastases in Stewart-Treves syndrome. *Eur J Dermatol*. 2020 Feb 1; 30(1): 68-9. doi: 10.1684/ejd.2020.3699.
- 4) Makino T, Matsui Y, Torai R, Mizawa M, Shimizu T. Agminated flexural melanocytic nevus associated with Langerhans cell histiocytosis. *J Dermatol*. 2020 Jul; 47(5): e275-6. doi: 10.1111/1346-8138.15391.
- 5) Matsui Y*, Makino T, Torai R, Shimizu T. Neutrophilic myositis developing in a case of systemic lupus erythematosus. *Eur J Dermatol*. 2020 Aug 1; 30(4): 432-3. doi: 10.1684/ejd.2020.3807.
- 6) Kagoyama K, Makino T, Minamisaka T, Shimizu T. Intravascular myopericytoma on the right dorsal foot. *Eur J Dermatol*. 2020 Dec 1; 30(6): 736-7. doi: 10.1684/eid.2020.3906.
- 7) 松井 悠*, 竹之内辰也. 亜鉛華デンプンの使い方～腫瘍に使用した例. *J Visual Dermatol*. 2020; 19(10): 1002-3.
- 8) 竹本景太, 結城大介, 高塚純子, 竹之内辰也. 肺転移を認めた隆起性皮膚線維肉腫. 皮膚病診療. 2020 May 1; 42(5): 420-5.

◆ 総説

- 1) 三澤 恵, 清水忠道. 不全型骨髄性プロトポルフィリン症. 最近話題の皮膚疾患 特集 最近のトピックス 2020. 臨床皮膚科 (増刊号). 2020 Apr 10; 74(5): 20-4.
- 2) 三澤 恵. アトピー性皮膚炎と漢方. *BEAUTY*. 2020 Apr 15; 3(4): 63-71.

◆ 学会報告

- 1) 牧野輝彦, 清水忠道. サルコイドーシスを合併した抗PM-SCL抗体陽性皮膚筋炎. 強皮症・膠原病国際シンポジウム2020 ; 2020 Mar 14 ; 金沢.
- 2) Makino T, Matsui Y, Mizawa M, Shimizu T. Agminated flexural melanocytic nevus with Langerhans cell histiocytosis. 第24回国際色素細胞学会 ; 2020 Jun 18-21 ; 山形 (抄録発表).
- 3) Makino T, Mizawa M, Yoshihisa Y, Yamamoto S, Tabuchi Y, Miyai M, Shimizu T. Trichohyalin-like 1 protein plays a crucial role in the proliferation of normal human keratinocytes and squamous cell carcinoma cells. 第45回日本研究皮膚科学会 ; 2020 Dec 11-13 ; 名古屋 (オンライン).
- 4) 清水忠道. 痒みをとまう皮膚疾患 update —漢方治療を含めて—. 大分皮膚科医会 学術講演会 ; 2020 Jan 21 ; 大分. (招待講演)
- 5) 清水忠道. 痒みをとまう皮膚疾患 UP DATE. 第74回日本皮膚科学会高知地方会 第38回総会 ; 2020 Feb 15 ; 高知. (招待講演)
- 6) 三澤 恵. 正しく知ろう! アトピー性皮膚炎. 第26回アレルギー週間記念行事 アレルギー疾患講演会・相談会・講習会 ; 2020 Feb 16 ; 富山. (招待講演)
- 7) 清水教子, 三澤 恵, 牧野輝彦, 清水忠道, 谷内江明宏, 千代恵里子. 種痘様水疱症の1例. 第465回日本皮膚科学会北陸地方会 ; 2020 Feb 16 ; 金沢.
- 8) 古川史奈, 牧野輝彦, 虎井僚太郎, 鹿児山浩, 清水忠道. ニボルマブ投与中に乾癬様皮疹を生じた2例. 第465回日本皮膚科学会北陸地方会 ; 2020 Feb 16 ; 金沢.
- 9) 古川史奈, 牧野輝彦, 松井 悠, 三澤 恵, 村上 純, 清水忠道. 特異疹を伴った慢性骨髄単球性白血病の1例. 第119回日本皮膚科学会総会 ; 2020 Jun 4-7 ; 京都 (オンライン).
- 10) 松井 悠*, 牧野輝彦, 虎井僚太郎, 森 直哉, 加藤泰輔, 高崎麻美, 種市尋宙, 板持雅恵, 清水忠道. 体幹四肢の広範囲に紅斑・丘疹を呈したHuman Parechovirus感染症の1例. 第119回日本皮膚科学会総会 ; 2020 Jun 4-7 ; 京都 (オンライン).
- 11) 要藤歩美, 三澤 恵, 松井 悠, 竹本景太, 古川史奈, 中野 創, 澤村大輔, 清水忠道. アプレミラストが奏

効したHailey-Hailey病の2例. 第119回日本皮膚科学会総会; 2020 Jun 4-7; 京都 (オンライン).

- 12) 森 修一, 勝見達也, 高塚純子, 竹之内辰也. 基底細胞癌1271例の臨床統計学的検討. 第119回日本皮膚科学会総会; 2020 Jun 4-7; 京都 (オンライン).
- 13) 竹本景太, 牧野輝彦, 清水忠道. 当科で経験した外陰部に生じた基底細胞癌の検討. 第16回加齢皮膚医学研究会; 2020 Jul 18-19; 神戸 (オンライン).
- 14) 三澤 恵, 安東嗣修, 清水忠道. 山梔子による色素沈着症の発症機序に関する検討. 第84回日本皮膚科学会東部支部学術大会; 2020 Aug 22-23; 甲府 (オンライン).
- 15) 竹本景太, 三澤 恵, 要藤歩美, 清水忠道, 林 智宏. 複合性局所疼痛症候群 (CRPS) に伴った爪病変. 第467回日本皮膚科学会北陸地方会富山県分科会; 2020 Sep 6; 富山.
- 16) 関 太樹, 古川史奈, 要藤歩美, 三澤 恵, 清水忠道, 千代恵里子. ジアフェニルスルホン(DDS)が奏効した好酸球性膿疱性毛包炎の1例. 第467回日本皮膚科学会北陸地方会富山県分科会; 2020 Sep 6; 富山.
- 17) 森 修一, 牧野輝彦, 清水忠道, 北野 佑. Morbihan病の1例. 第467回日本皮膚科学会北陸地方会富山県分科会; 2020 Sep 6; 富山.
- 18) 森 直哉, 牧野輝彦, 清水忠道. 結節性硬化症の血管線維腫に対する炭酸ガスレーザーとシロリムスゲルの併用療法. 第467回日本皮膚科学会北陸地方会富山県分科会; 2020 Sep 6; 富山.
- 19) 清水忠道. 光老化の発症メカニズム—真皮の変化について—. 第38回日本美容皮膚科学会; 2020 Sep 12-13; 東京 (オンライン). (招待講演)
- 20) 要藤歩美, 三澤 恵, 古川史奈, 松井 悠, 籠浦正順, 清水忠道. アプレミラストによる治療が有効であった毛孔性紅色秕糠疹IV型. 第35回日本乾癬学会; 2020 Sep 12-13; 福島 (オンライン).
- 21) 清水忠道. 皮膚科ではこう使う! 漢方処方. 第71回日本皮膚科学会中部支部学術大会; 2020 Oct 10-11; 岐阜 (オンライン). (招待講演)
- 22) 牧野輝彦. エキシマレーザー XTRAC® Velocity7による難治性皮膚疾患に対する治療. 第71回日本皮膚科学会中部支部学術大会; 2020 Oct 10-11; 岐阜 (オンライン). (招待講演)
- 23) 虎井僚太郎, 牧野輝彦, 林 政雄, 清水忠道. Adult Blaschkolinear Acquired Inflammatory Skin Eruption(BLAISE)の2例. 第71回日本皮膚科学会中部支部学術大会; 2020 Oct 10-11; 岐阜 (オンライン).
- 24) 古川史奈, 森 修一, 森 直哉, 原 寛, 清水忠道. ステロイドとジアフェニルスルホン (DDS) の併用治療が有効であった電撃性座瘡の1例. 第71回日本皮膚科学会中部支部学術大会; 2020 Oct 10-11; 岐阜 (オンライン).
- 25) 虎井僚太郎, 牧野輝彦, 松井 悠, 清水忠道. Epitope Spreadingを生じた尋常性天疱瘡の1例. 第468回日本皮膚科学会北陸地方会; 2020 Dec 13; 金沢 (オンライン).
- 26) 寺田義之, 虎井僚太郎, 牧野輝彦, 清水忠道, 野嶋孝則. 慢性アルコール中毒患者に生じた亜鉛欠乏性皮膚炎の一例. 第468回日本皮膚科学会北陸地方会; 2020 Dec 13; 金沢 (オンライン).
- 27) 森 直哉, 牧野輝彦, 松井 悠, 古川史奈, 原 寛, 清水忠道. 子宮体癌が発症に関与したIgA血管炎. 第50回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会; 2020 Dec 22-24; 高知 (オンライン).

◆ その他

- 1) 鹿兒山浩. Takt Clinic イボ. Takt 2月号; 2020 Feb; 富山. (招待講演)
- 2) 近藤 隆, 清水忠道. 温熱光線力学治療は皮膚と粘膜の扁平上皮がんのアポトーシスと活性酸素種生成を増やす. ハイパーサーミアに関する最近の話題42. 日本ハイパーサーミア学会ホームページ; 2020 Apr 27; オンライン. (招待講演)
- 3) 鹿兒山浩. 足底難治性疣贅に対するスキャナー搭載型CO2レーザー治療の有効性と安全性. 皮膚科ポータルサイト Dermatology Today; 2020 May 12; 富山 (ハイブリッド). (招待講演)
- 4) 牧野輝彦. 小児のスキンケア—アトピー性皮膚炎を中心に—. 富山県小児三木会; 2020 Jul 18-19; 富山 (オンライン). (招待講演)
- 5) 牧野輝彦. 乾癬バイオ治療と妊娠・出産. Round Table Meeting in Hokuriku; 2020 Sep 25; 金沢 (オンライン). (招待講演)
- 6) 清水忠道. 痒みをとまなう皮膚疾患 Update —漢方治療を含めて—. 石川県皮膚科漢方セミナー; 2020 Oct 1; 金沢 (オンライン). (招待講演)
- 7) 牧野輝彦. 多血小板血漿と高圧酸素療法を用いた皮膚潰瘍治療. Dermatologic Clinical Conference in Toyama; 2020 Oct 15; 富山 (オンライン). (招待講演)

- 8) 牧野輝彦. 座瘡治療 UP DATE～耐性菌を意識した薬剤の選択～. 上越皮膚学術講演会; 2020 Oct 17; 上越 (ハイブリッド). (招待講演)
- 9) 井波智恵子. 当院におけるデュピルマブの使用経験. 富山県アトピー性皮膚炎講演会; 2020 Nov 5; 富山 (ハイブリッド). (招待講演)
- 10) 三澤 恵. 富山大学におけるリサンキズマブの使用経験. 第2回 Dermatology Forum in TOYAMA; 2020 Nov 19; 富山 (ハイブリッド). (招待講演)
- 11) 清水忠道. 特集: 北陸の大学病院 富山大学附属病院皮膚科. 2020; 金沢.医療情報誌「医心77号」20-4, 2020.
- 12) 三澤 恵. News Letter 第3回「未知に挑む女性研究者賞」表彰式及び受賞記念講演. 2020 Mar; 富山. 富山大学男女共同参画推進室
- 13) 三澤 恵. 赤ちゃんのあざ 知りたい! 治療の最前線. 2020 Mar 3; 北日本新聞.
- 14) 要藤歩美. アプレミラストが奏効したHailey-Hailey病の2例. 2020 Jun 4; 京都 (オンライン). 第119回 日本皮膚科学会総会・優秀演題賞
- 15) 三澤 恵. 日本皮膚科学会 ニュースレター2020. 2020 Jul; 東京. 日本皮膚科学会キャリア支援委員会
- 16) 三澤 恵. 山梔子による色素沈着症の発症機序に関する検討. 2020 Aug 22; 甲府 (オンライン). 第84回 日本皮膚科学会東部支部学術大会・学会賞 Best Clinical Poster Award
- 17) 清水忠道. 医局ラウンジ 第32回富山大学皮膚科. 2020 Sep; 東京. 皮膚臨床 62: 1314-5, 2020.
- 18) 清水忠道, 牧野輝彦, 三澤 恵. 富山大学附属病院における「地域連携の会」を通じた病診連携の推進. 2020 Dec; Expert Interview
- 19) 牧野輝彦. Cross Functional Collaboration Seminar～皮膚科領域における医療連携を考える～. 2020 Dec 7; 富山(オンライン). 富山大学皮膚科における医療連携の取り組み